平成22年度 事務事業評価

整理番号
2-60

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	06	01	10	04	01
細事業名		農地・水・環境保全向上対策事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) I 交流経済都市 計画項目 (施策) ② 農林業の振興 施策方針 1-9 足腰の強い農業の基盤づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域において、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、地域ぐるみでの効果の高い共同活動と農業者ぐるみでの先進的な営農活動を一体的かつ総合的に支援する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 23年度で終了 共同活動により、農地及び施設を守る地域力を持つ集落になる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 活動組織に、京都市農地・水・環境保全向上対策協議会から交付金を交付(市から協議会へ負担金支払い) 事業推進のための支援(説明会、研修会等及び、報告書等作成等)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 活動組織95組織で共同活動を実施 活動組織5組織で先進的な営農活動を実施

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	4	67	国庫支出金		
	7	725	府支出金	農地・水・環境保全向	2,359
	9	63	起債		
	11	806	分担金・負担金		
	12	86	その他		
	14	593			
	19	28,610	一般財源		28,591
事業費合計		30,950	合計		30,950

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">全組織が計画に基づいて活動を実施できた。また、活動組織の事業推進のための説明会、補修研修会の実施、報告書類点検や指導等を実施した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	全組織が計画に基づいて活動を実施できた。また、活動組織の事業推進のための説明会、補修研修会の実施、報告書類点検や指導等を実施した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	全組織が計画に基づいて活動を実施できた。また、活動組織の事業推進のための説明会、補修研修会の実施、報告書類点検や指導等を実施した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">交付金は 国1/2府1/4市1/4が負担することと決まっているため、削減の余地はなし</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	交付金は 国1/2府1/4市1/4が負担することと決まっているため、削減の余地はなし	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	交付金は 国1/2府1/4市1/4が負担することと決まっているため、削減の余地はなし			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	この事業は19年～23年度の5か年事業で23年度で終了予定なので現状維持
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	この事業は19年～23年度の5か年事業で23年度で終了予定なので現状維持
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	03	01
細事業名		環境保全活動事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後地域の豊かな自然環境の保全や美化活動を推進するため、市、環境保護団体および市民が一体となって美しいふるさとづくり活動に向けた取り組みを実施する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 重点区域4箇所⇒6箇所

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 美しいふるさとづくり条例重点区域看板の修繕 環境保護団体による美化活動及び意識啓発活動への支援(補助金交付)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 環境保護団体による琴引浜の夏期パトロール⇒13日間

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	6	68	財源内訳	国庫支出金	
	19	130		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	198
事業費合計		198	合計		198

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	美しいふるさとづくり審議会は2月に審議会委員の任期満了となり重点区域拡充は進んでいない。鳴き砂を守る会による琴引浜での夏期パトロールを13日間実施し、環境保全に努めた。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	観光客が最も多い海水浴シーズンについては、平日もパトロールを行う必要があり、地元では補助金対象としている土日及びお盆期間の13日間以外にもパトロールや清掃活動を実施しているので削減の余地はない。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	審議会において重点区域の拡充のための調査・検討 観光客が最も多い海水浴シーズンについては、今後もパトロールを行い啓発活動を実施する必要があるため引き続き支援を行う。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	引き続き環境保護団体主体による、環境保全啓発事業等への支援を行う。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	09	01
細事業名		ブナ林保全関連事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学術的な価値も有し、本市の主要河川竹野川の水源域に位置する「内山ブナ林」を保全・継承する。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 年2回(春・秋)に観察会を実施(各40名)し多くの市民に貴重なブナ林の存在を知ってもらい、環境保全について意識向上を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民及び府民を対象に、観察会の開催、環境学習の場として活用。 ブナ林観察会講師謝金 ブナ林観察会に必要な消耗品の購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 新緑ブナ林観察会5月17日参加申込者54名⇒荒天により中止 紅葉のブナ林観察会11月7日開催 申込者39名 参加者28名

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	30	財源内訳	国庫支出金		
	11	7		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		37
				合計		37

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">5月15日 荒天により中止 11月7日 参加者28名</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	5月15日 荒天により中止 11月7日 参加者28名	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	5月15日 荒天により中止 11月7日 参加者28名			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">例年参加者が多く、講師を減らせないためこれ以上の削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	例年参加者が多く、講師を減らせないためこれ以上の削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	例年参加者が多く、講師を減らせないためこれ以上の削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	気軽に入れるブナ林としても有名な内山ブナ林の観察を通して自然環境保全の大切さを伝えるため、小中学生を対象とした環境学習の場として活用できる方法を考え実施したい
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	毎年申し込み件数の多い催しであること、また京丹後市の木として認定されたため、多くの市民へ観察会を通して自然環境保全の大切さを再確認してもらおう。子どもたちの環境学習の場としてさらなる拡大を図る。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	09	02
細事業名		スターウォッチング開催事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	星空観察を通して、大気・自然環境保全の重要性を啓発する。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	星空観察会 参加者50名

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市民を対象に星空観察会を実施。星空観察会講師謝金観察会に必要な消耗品の購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 星空観察会 参加者48名

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	6	財源内訳	国庫支出金		
	11	6		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		12
				合計		12

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 8/18 当日参加者48名 (募集50名、申し込み51名)</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 8/18 当日参加者48名 (募集50名、申し込み51名)	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	○ × 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 8/18 当日参加者48名 (募集50名、申し込み51名)			
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 星空観察会講師謝金1名分のみしか支払できていない。参加者も多く、双眼鏡も不足しており、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 星空観察会講師謝金1名分のみしか支払できていない。参加者も多く、双眼鏡も不足しており、削減の余地はなかった。	○ ▲ 少し削減の余地があった	○ × 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由 星空観察会講師謝金1名分のみしか支払できていない。参加者も多く、双眼鏡も不足しており、削減の余地はなかった。				
○ ▲ 少し削減の余地があった					
○ × 削減の余地があった					

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 毎年参加申し込みの多い人気のある事業につき、継続して全国スターウォッチング事業に参加していく。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 引き続き、年1回(夏)星空観察会を実施する。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	09	03
細事業名		河川・湖沼等環境体験学習事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	川戸潤子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 河川等の観察を通して、水環境を中心とした自然環境保全の意識向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 河川での環境学習回数2箇所⇒3箇所以上
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の小学生を対象に河川等で体験活動講師謝金(4名) (7/27 峰山 鱒留川においてわんぱくアウトドアin天女の郷(小学生30名参加) (8/25 弥栄 野間川において自然に触れながら水環境学習会を実施) 体験に必要な消耗品の購入
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 河川での環境学習回数 2箇所

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	8	24	国庫支出金	
	11	4	府支出金	
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	28
事業費合計		28	合計	28

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	実施箇所 平成20年度 平成21年度 1箇所 ⇒ 2箇所			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	夏休み公民館事業で開催されるサマーキャンプ等のプログラムの中に環境学習の時間を持つことにより低コストで実施できたので、これ以上の削減は難しい。また、複数箇所での実施が可能となりより多くの児童に環境学習を実施することができる。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">水源から海まで、河川流域全てが市内にあるという全国的に見ても珍しい地形を活用して、引き続き子供たちに自然資源としての主要河川の保全を考える機会を提供する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	水源から海まで、河川流域全てが市内にあるという全国的に見ても珍しい地形を活用して、引き続き子供たちに自然資源としての主要河川の保全を考える機会を提供する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	水源から海まで、河川流域全てが市内にあるという全国的に見ても珍しい地形を活用して、引き続き子供たちに自然資源としての主要河川の保全を考える機会を提供する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">弥栄、峰山だけでなく、その他の地域でも実施できるよう他の団体と調整して進める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	弥栄、峰山だけでなく、その他の地域でも実施できるよう他の団体と調整して進める。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	弥栄、峰山だけでなく、その他の地域でも実施できるよう他の団体と調整して進める。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	17	01
細事業名		環境基本計画推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	戸石善雅

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 1 豊かな自然環境の継承
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 環境基本計画を推進するための組織体制を構築し、市民・事業者・市民団体・旅行者等への普及・啓発を図るとともに、計画の進捗管理を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 環境基本計画数値目標の達成

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 環境基本計画の議会議決が年度末頃になり、推進委員会の設置ができなかった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	0	財源内訳	国庫支出金		
	9	3		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3
				合計		3

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 環境基本計画の議会議決が2月だったため			
	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。	B	B 内容の見直し	C	C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由 環境基本計画の決定を受け、平成25年度の重点プロジェクト目標年度にむけて計画を推進していく。					
	B	B 内容の見直し						
	C	C 統廃合・休止・終了						
	事業規模の方向性							
<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 目標年度に向けて計画を推進していく。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 目標年度に向けて計画を推進していく。		B 現状維持		C 事業縮小	
B	A 事業拡大	理由 目標年度に向けて計画を推進していく。						
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
8-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	07	01
細事業名		エコドライブ普及促進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ① 自然環境の保全と創造 施策方針 2 地球温暖化防止対策の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 環境にやさしい「エコドライブ」の普及促進を図るとともに、地球温暖化防止に向けた啓発を行う。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 講習会受講者数 30人/年 延べ150人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	0	財源内訳	国庫支出金		
	13	0		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		0
				合計		0

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。</td> </tr> <tr> <td>× ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			講習会実施委託先との日程等調整がつかず、未実施となった。	
	× ▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由		▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由					
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	21年度から事業を見直し、講習会を開催することとした。講習会実施委託先との日程調整等ができなかったことから、未実施となったが、22年度からは、着実に講習会方式で実施する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	できるだけ多くの方に講習会に参加してもらえるよう工夫するとともに、国のエコドライブ推進月間(11月)にあわせ、効果的に実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
9-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	18	01
細事業名		省エネ・グリーン化推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ② 新しいエネルギーの導入と活用 施策方針 1 新エネルギー等の導入検討
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 公共施設に太陽光発電などの設備を設置し、地球温暖化対策を推進する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公共施設への設備導入数(太陽光発電設備 10kW相当) 3施設

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京都府の補助制度を活用し、公共施設を対象に、省エネルギー・新エネルギー設備を導入することとしていたが、設計協議等に時日を要したことなどにより、事業を完了できなかった。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	15	0	国庫支出金		
			府支出金	省エネ・グリーン化推進地	0
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>× 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。	× 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	設計協議等に時日を要したことなどにより、年度内の完了ができなかった。			
× 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由		▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	段階的に公共施設に太陽光発電設備等を導入する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	京都府の制度を活用し、事業を実施する。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
9-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	14	01
細事業名		エコエネルギーセンター管理運営事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	田中英樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ② 新しいエネルギーの導入と活用 施策方針 2 新エネルギー等の普及・活用
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市における循環型社会の形成を図るため、エコエネルギーに関する情報発信及び資源の利活用等環境に関する学習の普及並びに有機系未利用資源の再資源化を促進する拠点としての京丹後市エコエネルギーセンターを管理運営する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 環境保全型農業の推進 H24年度末にメタン発酵消化液の液肥としての全量利用 生ごみの資源化推進 環境学習・情報発信

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 施設の適切な運転管理のため、機械設備の改修工事を実施 指定管理者による指定管理業務の遂行(環境学習・施設見学の受入) 行政視察、まちづくり出前講座の実施
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 環境学習および情報発信の推進

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
事業費合計	12	83	国庫支出金	
	15	19,803	府支出金	未来づくり交付金 3,400
			起債	未来づくり資金 12,200
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	4,286
			合計	19,886
	事業費合計		19,886	合計

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 NEDO技術開発機構からの施設譲渡が遅れたこと等により液肥利用が進まなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 NEDO技術開発機構からの施設譲渡が遅れたこと等により液肥利用が進まなかった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由 NEDO技術開発機構からの施設譲渡が遅れたこと等により液肥利用が進まなかった。			
	▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)					
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか					
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 コスト削減に留意しつつ、必要な機械設備改修を行った。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 コスト削減に留意しつつ、必要な機械設備改修を行った。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由 コスト削減に留意しつつ、必要な機械設備改修を行った。				
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 機械設備の計画的、効率的な改修工事の実施。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 機械設備の計画的、効率的な改修工事の実施。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
11-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	12	01
細事業名		地域バイオマス利活用推進事業				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ④ 循環型社会の構築 施策方針 1 循環型社会環境の整備
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市バイオマスタウン構想実現のため、市内で発生する林地残材等を活用したバイオプラスチック化や京丹後市エコエネルギーセンターの液肥利用促進が必要であり、そのためのプラスチック化設備、液肥散布車・運搬車の導入に対し、事業者への支援を行う。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 設備・機器導入によるバイオマス資源の利用拡大 導入数 2式</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市エコエネルギーセンターの指定管理事業者が行う液肥散布機、運搬車の導入に対し、国の補助金を活用し、支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 液肥利用の促進のために必要な機器の導入が完了。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	8,495	国庫支出金	地域バイオマス利活用	8,495
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		8,495	合計		8,495

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 液肥利用の促進のために必要な機器の導入が完了。 × 遅れている(できていない)</p> <p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった 理由 バイオマス利用を推進するためには、事業の採算性等から支援が必要。このため、国の交付金を活用し、必要な機器導入に対し、支援を行ったもので、削減の余地はない。 × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>C A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 整備が完了した設備・機器について、適切に管理・運営していくための指導を行っていく。また、新たな事業については、企業等の動向など必要に応じ、検討していく。</p> <p>事業規模の方向性</p> <p>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号
11-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	12	02
細事業名		地域バイオマス利活用促進事業				

担当部署	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ④ 循環型社会の構築 施策方針 1 循環型社会環境の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ごみの減量化と地球温暖化防止を図るため、現在、ごみ処理施設において焼却処分されている市内一般廃棄物の中の「生ごみ」資源化を促進するとともに、京丹後市エコエネルギーセンターで製造される液肥の利用を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 家庭系生ごみ利活用量 690t 事業系生ごみ利活用量 648t 液肥の利用 20,000t

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計			国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		0
事業費合計		0	合計		0

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない) 理由
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった 理由

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 C B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由

平成22年度 事務事業評価

整理番号
11-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	04	01	07	15	01
細事業名		未利用資源生ごみ利活用実証研究				

担当部局	農林水産環境部
担当課等	環境バイオマス推進課
担当課長の氏名	後藤正明
担当者の氏名	松田吉正

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) II 環境循環都市 計画項目 (施策) ④ 循環型社会の構築 施策方針 2 循環型産業の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) ごみの減量化と地球温暖化防止を図るため、現在、ごみ処理施設において焼却処分されている市内一般廃棄物の中の「生ごみ」を資源化するための実証研究を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成26年度事業の効果目標 家庭系生ごみの資源化量 690t/年

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	0	財源内訳	国庫支出金		
	13	0		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		0
				合計		0

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">資源化施設である京丹後市エコエネルギーセンターの設置が遅れたため。</td> </tr> <tr> <td>× 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	資源化施設である京丹後市エコエネルギーセンターの設置が遅れたため。	× 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			資源化施設である京丹後市エコエネルギーセンターの設置が遅れたため。	
	× 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由		▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由					
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域バイオマス利活用促進事業に統合し、生ごみ資源化及び液肥利用推進を一体化し、循環モデル確立に向け、効果的に事業を行う。</td> </tr> <tr> <td>C B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	地域バイオマス利活用促進事業に統合し、生ごみ資源化及び液肥利用推進を一体化し、循環モデル確立に向け、効果的に事業を行う。	C B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			地域バイオマス利活用促進事業に統合し、生ごみ資源化及び液肥利用推進を一体化し、循環モデル確立に向け、効果的に事業を行う。	
	C B 内容の見直し					
	C 統廃合・休止・終了					
	事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由		B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由					
B 現状維持						
C 事業縮小						